

令和元事業年度

# 決算報告書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

公立大学法人 九州歯科大学

令和元年度 決算報告書

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
費用の部	3,508	3,524	15	
経常費用	3,508	3,524	15	
業務費	3,137	3,136	▲ 0	
教育研究経費	314	314	0	
診療経費	699	725	26	
受託研究費等	4	16	11	(注1)
人件費	2,119	2,080	▲ 39	
一般管理費	366	379	12	
(減価償却費 再掲)	(162)	(188)	(26)	(注2)
財務費用	4	6	2	(注3)
雑損	-	1	1	(注4)
収益の部	3,472	3,431	▲ 41	
経常収益	3,472	3,429	▲ 42	
運営費交付金収益	1,647	1,592	▲ 55	
授業料収益	416	398	▲ 17	
入学金収益	64	61	▲ 2	
検定料収益	10	6	▲ 3	(注5)
附属病院収益	1,148	1,174	26	
受託研究等収益	4	18	13	(注6)
補助金等収益	59	50	▲ 9	(注7)
寄附金収益	14	24	10	(注8)
資産見返運営費交付金等戻入	8	8	0	
資産見返補助金等戻入	24	23	▲ 1	
資産見返寄附金戻入	9	7	▲ 2	(注9)
資産見返物品受贈額戻入	12	11	▲ 0	
財務収益	0	0	0	
雑益	50	49	▲ 0	
臨時利益	-	1	1	(注10)
当期純利益	▲ 36	▲ 93	▲ 57	
目的積立金取崩額	46	35	▲ 10	(注11)
当期総利益	9	▲ 57	▲ 67	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 受託研究費等については、主として受託研究等収益が13百万円増加したことに伴い受託研究費等が同額執行されたため、予算金額に比して11百万円増加しました。
- (注2) 減価償却費については、主として年度当初の予定よりリース資産の購入が増えたことより、それに伴い減価償却費が増加し、予算金額に比して26百万円増加しました。
- (注3) 財務費用については、主として年度当初の予定よりリース資産の購入が増えたことより、それに伴い支払利息が増加し、予算金額に比して2百万円増加しました。
- (注4) 雑損については、主として海外へ検査試薬の寄附を行ったことに伴い、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注5) 検定料収益については、入学志願者が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して3百万円減少しました。
- (注6) 受託研究等収益については、受託研究等の件数が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して13百万円増加しました。
- (注7) 補助金等収益については、主として当初予定のなかった働く世代の歯周病検査普及事業補助金7百万円を収益化した一方、臨床研修医補助金が17百万円減少したことにより、予算金額に比して9百万円減少しました。
- (注8) 寄附金収益については、主として寄附管理物品費用計上が6百万円あったことから、予算金額に比して10百万円増加しました。
- (注9) 資産見返寄附金戻入については、寄附金により取得した固定資産の減価償却費が減少したことに伴い、資産見返戻入も予算金額に比して2百万円減少しました。
- (注10) 臨時利益については、主として対人賠償保険金として1百万円計上されたことにより、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注11) 目的積立金取崩額については、主として目的積立金を当初予定のなかった固定資産の取得9百万円に充当したため、予算金額に比して10百万円減少しました。

令和元年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
資金支出	3,969	3,977	8	
業務活動による支出	3,334	3,318	▲ 15	(注1)
投資活動による支出	64	74	9	(注2)
財務活動による支出	102	114	11	(注3)
翌年度への繰越金	468	470	1	
資金収入	3,969	3,977	8	
業務活動による収入	3,467	3,481	14	
運営費交付金収入	1,648	1,654	6	
授業料収入	408	406	▲ 2	
入学金収入	64	61	▲ 2	
検定料収入	10	6	▲ 3	(注4)
附属病院収入	1,148	1,171	23	
受託研究等収入	4	14	9	(注5)
補助金等収入	117	94	▲ 23	(注6)
寄附金収入	14	21	6	(注7)
その他の収入	50	51	0	
投資活動による収入	0	0	▲ 0	
財務活動による収入	-	-	-	
前年度からの繰越金	501	495	▲ 5	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注2) 投資活動による支出については、年度当初支出予定のなかった清水キャンパスフェンスの取替と附属病院医療機器の購入により有形固定資産の取得による支出が9百万円増加したことにより、予算金額に比して9百万円増加しました。
- (注3) 財務活動による支出については、ESCO事業によりファイナンスリース債務の返済による支出が増加したため、予算金額に比して11百万円増加しました。
- (注4) 検定料収入については、入学志願者が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して3百万円減少しました。
- (注5) 受託研究等収入については、受託研究等の件数が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して9百万円増加しました。
- (注6) 補助金等収入については、主として臨床研修医補助金が17百万円減少したことにより、予算金額に比して23百万円減少しました。
- (注7) 寄附金収入については、研究助成金の件数が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して6百万円増加しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

- (注1) 業務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額3,251百万円に、当期末未払金232百万円を加算し、前期末未払金164百万円を減算して算出しています。
- (注2) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額64百万円に、当期末未払金9百万円を加算して算出しています。
- (注6) 補助金等収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額116百万円に、当期末未払金47百万円を加算し、前期末未払金69百万円を減算して算出しています。